科目番号	53016	分類	専門科目 臨床看護学領域	履修者	看護科学コース （看護教育・研究者プログラム）	学年
科目名	成人・老年看護学特論Ⅱ （ Advanced Course in Adult and Gerontological Nursing 2 ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期

担当者	○竹内 朋子	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連（%）	
【概要】 成人期・老年期にある対象と対象を支えるための医療・保健・看護サービスの在り方について理解を深める。さらに、多角的に医療・保健・看護サービスの現状を把握し、問題の所在を明らかにし、洞察し、諸課題に関する情報収集・分析能力及び専門分野に関する研究能力を養う。 【目標】 1. 成人・老年看護研究の国内外の動向について説明できる。 2. 成人・老年看護研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチについて説明できる。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
	○	4. 実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授 業 計 画

回	内 容	担当教員
第１・２回	急性期看護学研究の動向（国内・海外）	竹内
第３回	急性期看護学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ	
第４・５回	慢性期看護学研究の看護の動向（国内・海外）	
第６・７回	慢性期看護研学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ	
第８・９回	終末期看護学研究の看護の動向（国内・海外）	
第１０・１１回	終末期看護学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ	
第１２・１３回	老年看護学研究の看護の動向（国内・海外）	
第１４・１５回	老年看護学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ	

事前・事後学習	事前学習：必携図書等から各回の講義テーマの概要について理解しておく。 場合によっては指定の事前課題を提出する。 事後学習：講義内容を復習する。場合によっては指定のレポートを提出する。 ※単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	参加状況（３０%）、課題・レポート等（70%）から総合的に評価する。 ※フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	・Clifford S. Deutschman：Evidence-Based Practice of Critical Care（Elsevier） ・Judith Carrier：Managing Long-term Conditions and Chronic Illness in Primary Care: A Guide to Good Practice（Routledge） ・Eduardo Bruera（Ed.）：Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care（CRC Press） ・Sheryl Zimmerman：Assisted Living Needs, Practices, and Policies in Residential Care for the Elderly （Jons Hopkins University Press） その他適宜紹介する。
備考	授業は参加型・ゼミナール形式で展開する。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。